

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援／放課後等デイサービス Olinace成田			
○保護者評価実施期間	2024年 11月 5日 2025年 1月 27日 ～ 2024年 11月 30日 2025年 2月15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31名 30名	(回答者数)	31名 22名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 27日 ～ 2025年 2月 8日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	脳科学理論をもとにした運動療育	・「動」と「静」のセットでメリハリを意識 「動」と「静」の組み合わせで脳と体が成長し集中力を身に付けます。脳と体は相互関係にあります。体を動かすと脳（前頭前野）が活性化し、集中するために必要な脳の領域が元気になります。「動」と「静」の活動を交互に繰り返すことにより、興奮を瞬時に抑制する力が高まります。動と静のメリハリで、より強い抑制力を育てるため、結果的に集中する力が身に付きやすくなります。 ・数分ごとにあそびを変えて脳を刺激する 脳の様々な力を切り替えながら行うことで、楽しく能力を育てることができ ます。また、子どもも飽きずに続けられるため、集中力も鍛えられます。 ・ストーリーやイメージと運動がセットになっている ハイハイをするだけでも「犬さんみたいに歩こう」など、イメージさせて体 を動かすことで想像力を鍛えます。	・定期的な運動研修の実施やアレンジした運動プログラムの共有 ・楽しく体が動かせるとような雰囲気作りを継続させて、積極的な参 加を促していく。
2	学習（宿題）支援	学校の宿題で分からない問題や宿題がない利用者様へは学習プ リントの希望を取ってOlinace成田が準備したプリントを実施 して「学習時間」を取るようにしている。	ご家庭からのニーズにお応えしながら学習道具を準備して頂 き、継続的に「学習時間の提供」を確保して、お子様の無理 のない範囲で学習意欲を引き出していけるようにしていく。
3	各家庭への利用時の様子などを共有して、お子様の変化を見逃 さない情報共有の環境	支援の状況や取り組み状況等を共有することで、保護者の皆様 が安心してOlinace成田の療育活動で療育を進められるように 心掛けている。また、ひとつひとつの事柄を丁寧に説明するこ とで、お子様の成長を感じ取れるようにブログだけでなく写真 を印刷して提供している。	面談期間だけでなく、常に面談が出来る環境を周知させて頂 く。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	面談以外の保護者会の実施	各ご家庭とは面談を通じて、情報共有等を行っているが、保護 者様同士での情報共有の場である保護者会や加増支援プログラ ム等の情報が不足している。	保護者会等を想定しながら保護者様同士の交流の場を設けら れるように検討していく。
2	地域交流の不足	クリスマス会等では各企業様よりお子様へのプレゼント交流は あるが「人と人」での交流する場は設けられていない。事業所 内の活動がメインになってしまっている。	お買い物体験では地域のお店での購入体験を実施して店員さ んとの交流はあるが、地域の催し物の状況なども把握して参 加できる場合は参加を検討していく。
3			